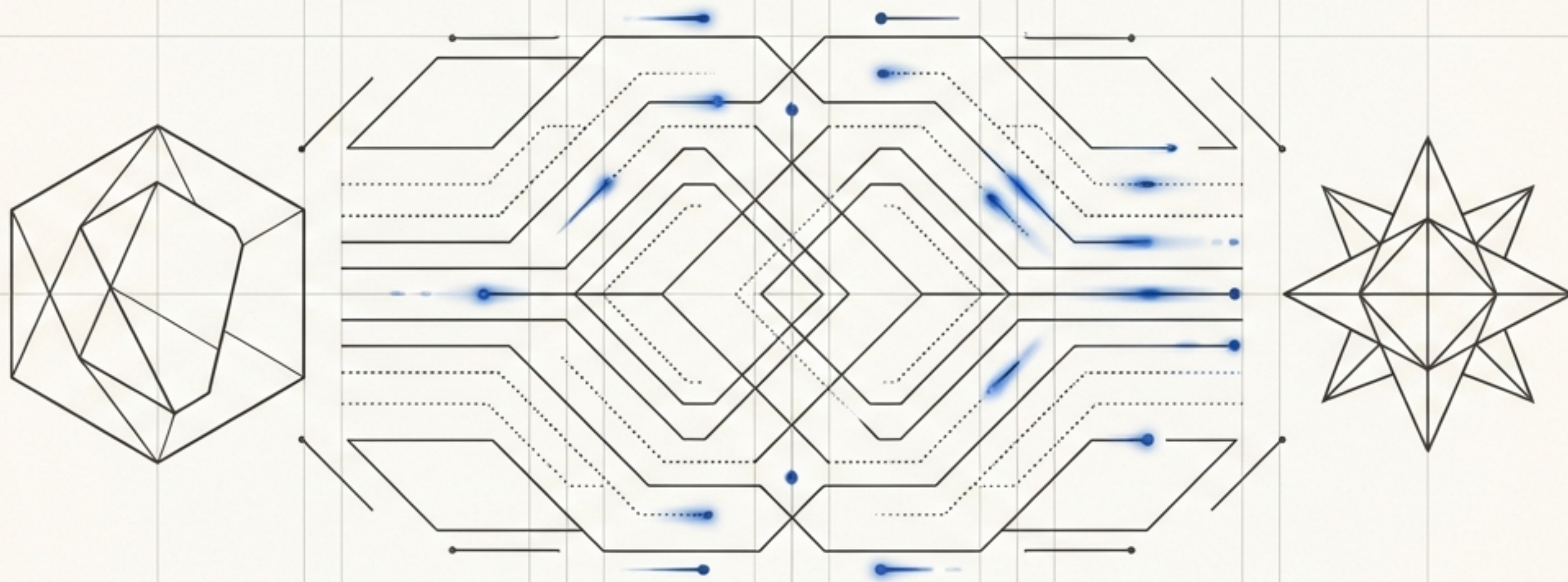


あなたのObsidianに、思考する頭脳と自動化する手足を。



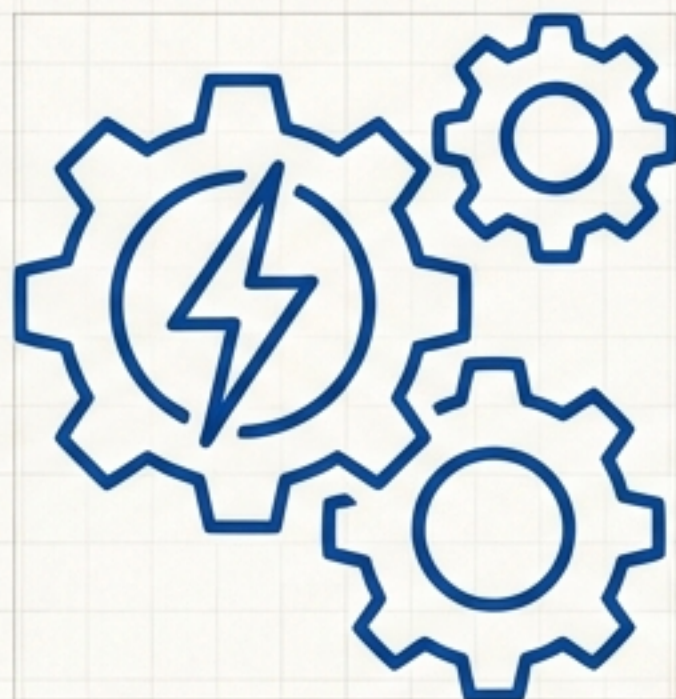
Gemini Helper: AIチャット、ワークフロー、セマンティック検索を搭載した、
オールインワンの知識管理ツールキット。

Gemini Helperは、あなたのObsidianに3つの強力なツールを追加する「AIツールキット」です。



AIチャット

保管庫の知識と連携する、インテリジェントな対話アシスタント。



ワークフロービルダー

コーディング不要。定型業務をAIの支援で完全に自動化。



セマンティック検索

キーワードを超え、文脈で知識を発見するRAG搭載の次世代検索。

完全無料・オープンソース。必要なのはGoogle GeminiのAPIキー、またはCLIツールのみです。

まずは動力源を選ぶ：APIキー、それともCLI？

機能	無料APIキー	有料APIキー	CLIツール
基本チャット	✓	✓	✓
保管庫の操作	✓	✓	読み取り/検索のみ
セマンティック検索	✓ (制限あり)	✓	✗
ワークフロー	✓	✓	✓
画像生成	✗	✓	✗
コスト	無料	従量課金	無料

CLIオプションのメリット：

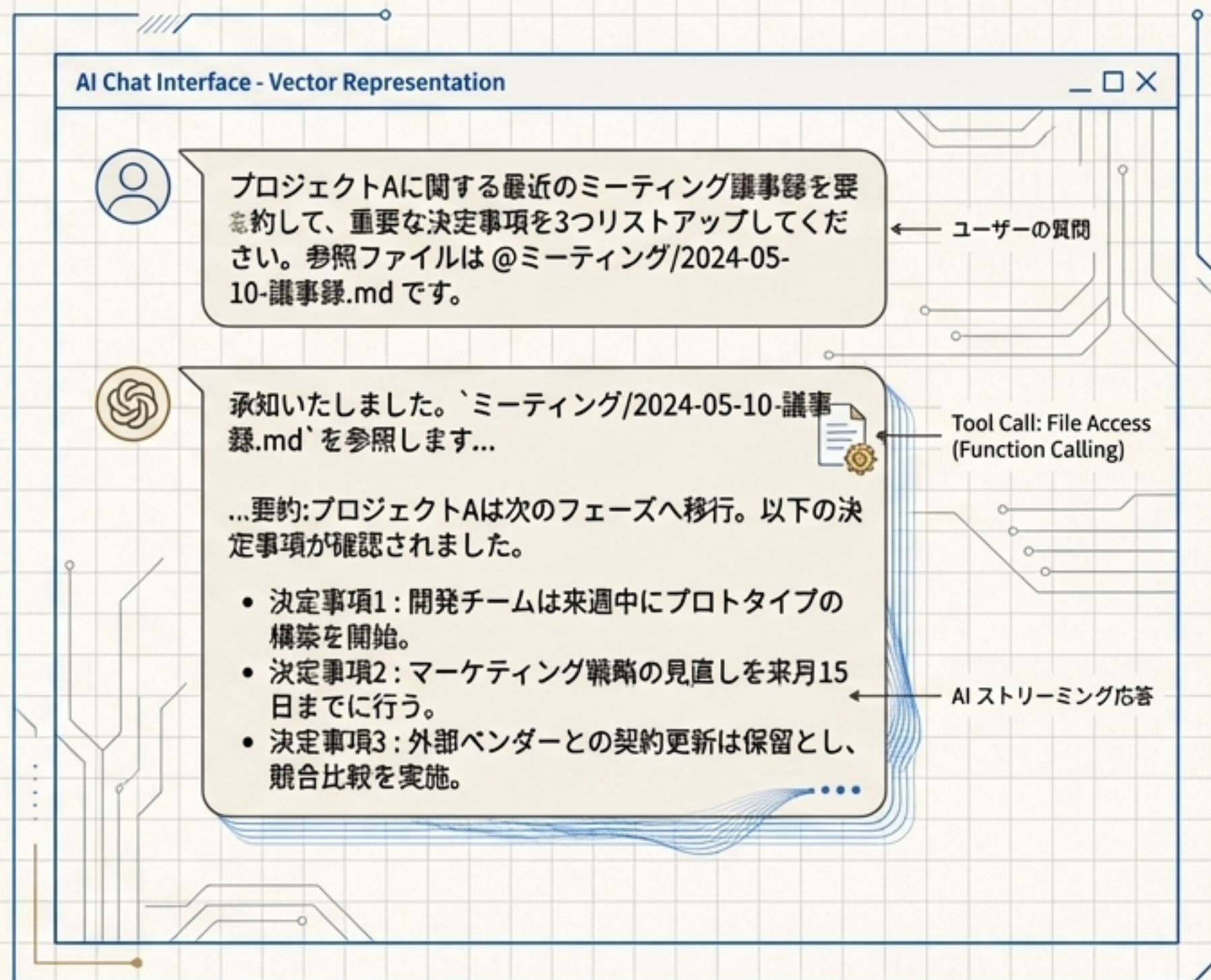
APIキー不要で、`Gemini CLI`、`Claude Code`、`Codex CLI`といった主要モデルを利用可能。

ツール1：知的対話アシスタント（AI Chat）

あなたの保管庫と対話し、思考を加速させるパートナー。

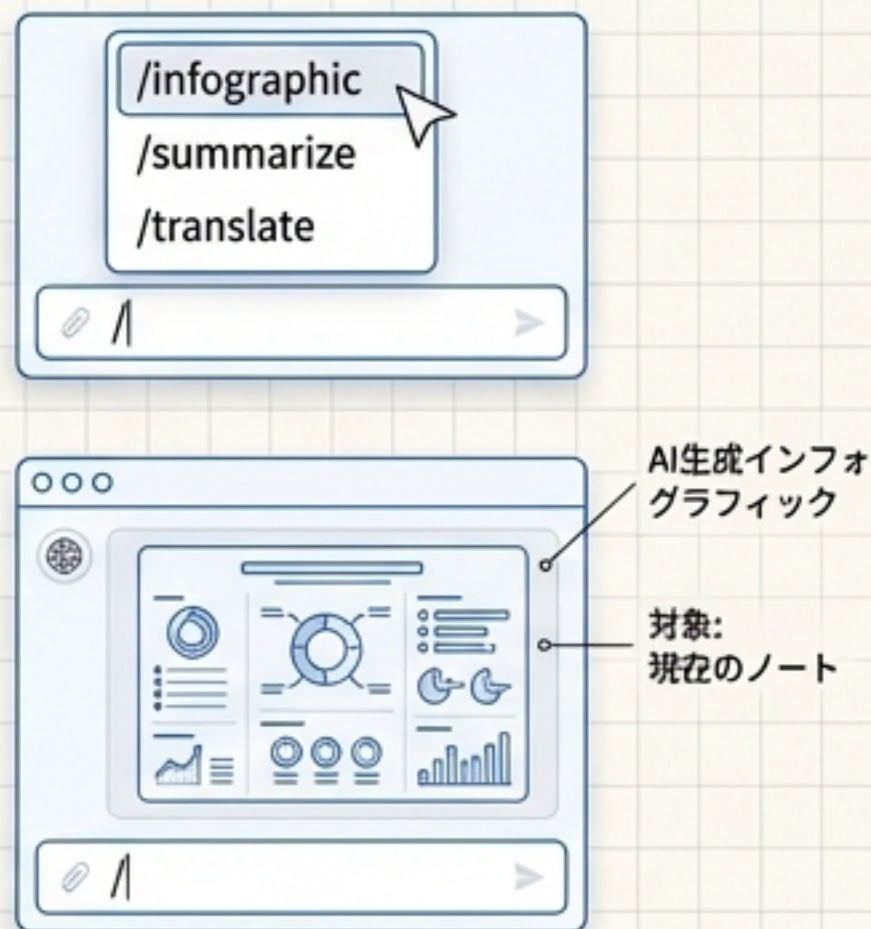
Noto Serif JP Regular

- ストリーミング形式の高速レスポンス
- 画像、PDF、テキストファイルの直接添付
- 保管庫のファイル操作をAIが実行 (Function Calling)
- 定型プロンプトを瞬時に呼び出すスラッシュコマンド



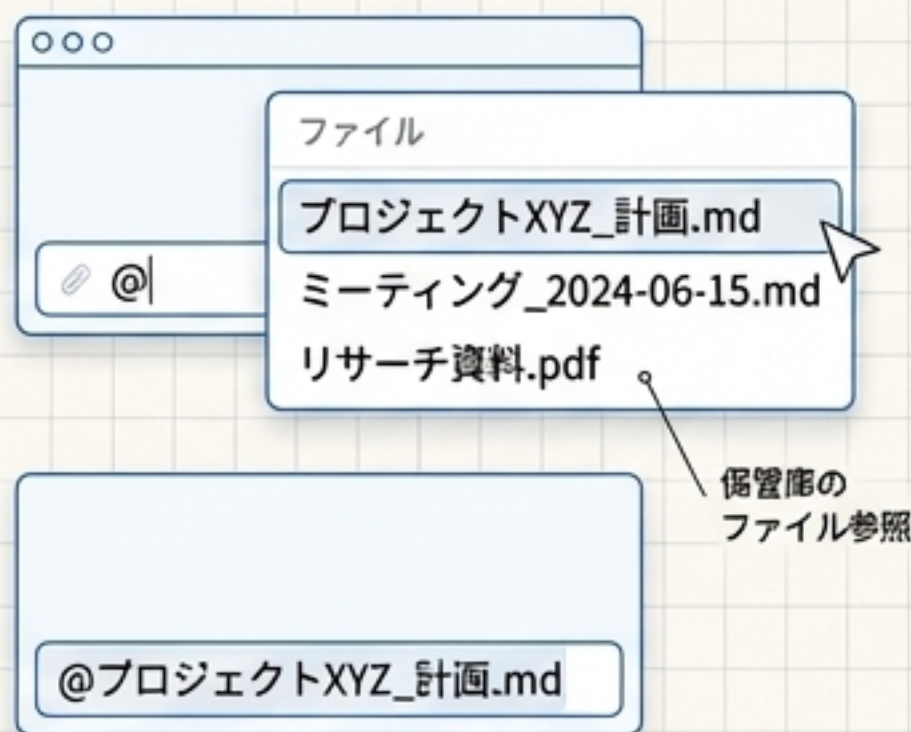
チャットをカスタマイズし、ワークフローに組み込む

1. スラッシュコマンド (`/`)



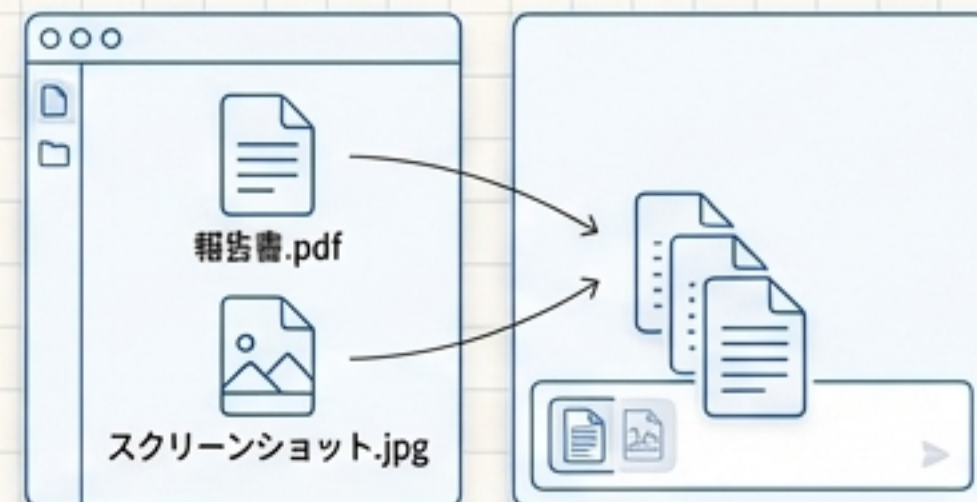
`/{selection}`や`/{content}`変数を使った定型プロンプトを定義。`/`を入力するだけで呼び出し可能。

2. @メンション



`@`を入力して、保管庫内のファイルを検索し、参照として挿入。AIはツール経由でそのファイルの内容を読み取ります。

3. ファイル添付



チャット欄にファイルをドラッグ&ドロップするだけで、画像 (PNG, JPG等) やPDFをAIに直接渡せます。

AIがあなたの保管庫アシスタントになる (Function Calling)

AIは以下のツールを使用して、あなたの代わりにファイル操作を行います。

ツールリスト (一部抜粋)



read_note

ノートの内容を読み取る



create_note

新しいノートを作成する



propose_edit

変更を提案し、確認を求める



search_notes

キーワードでノートを検索する



bulk_propose_edit

複数のファイルを一括で編集提案

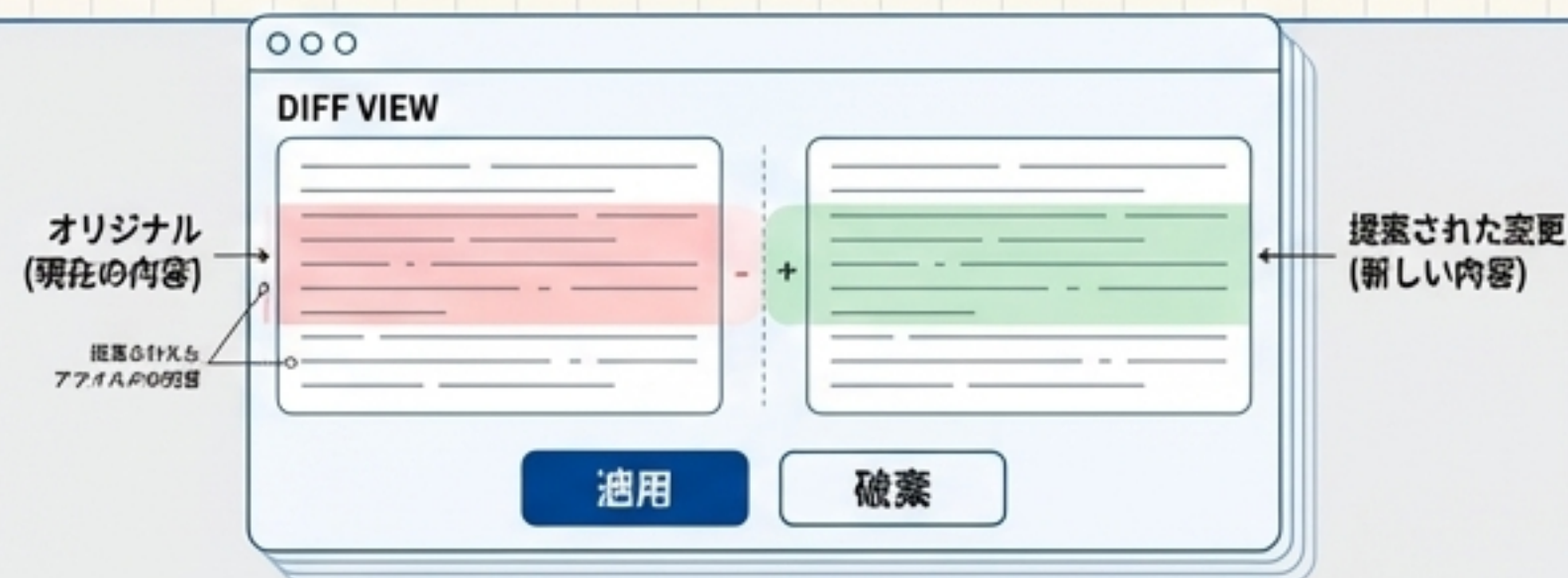


create_folder

新しいフォルダを作成する

ハイライトセクション: 「安全な編集」機能

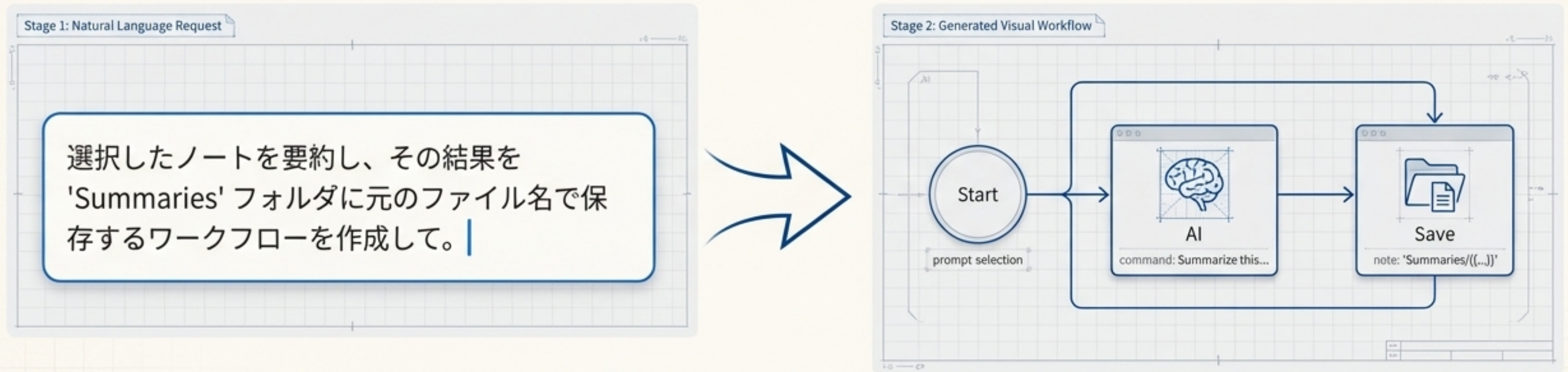
AIが `propose\_edit` を使用すると、変更内容を確認するためのダイアログが表示されます。



あなたが「適用」をクリックするまで、ファイルは一切変更されません。

ツール2：ノーコード自動化エンジン（Workflow Builder）

「選択したノートに要約して保存」のように、やりたいことを話すだけで、AIが自動化の仕組みを構築します。

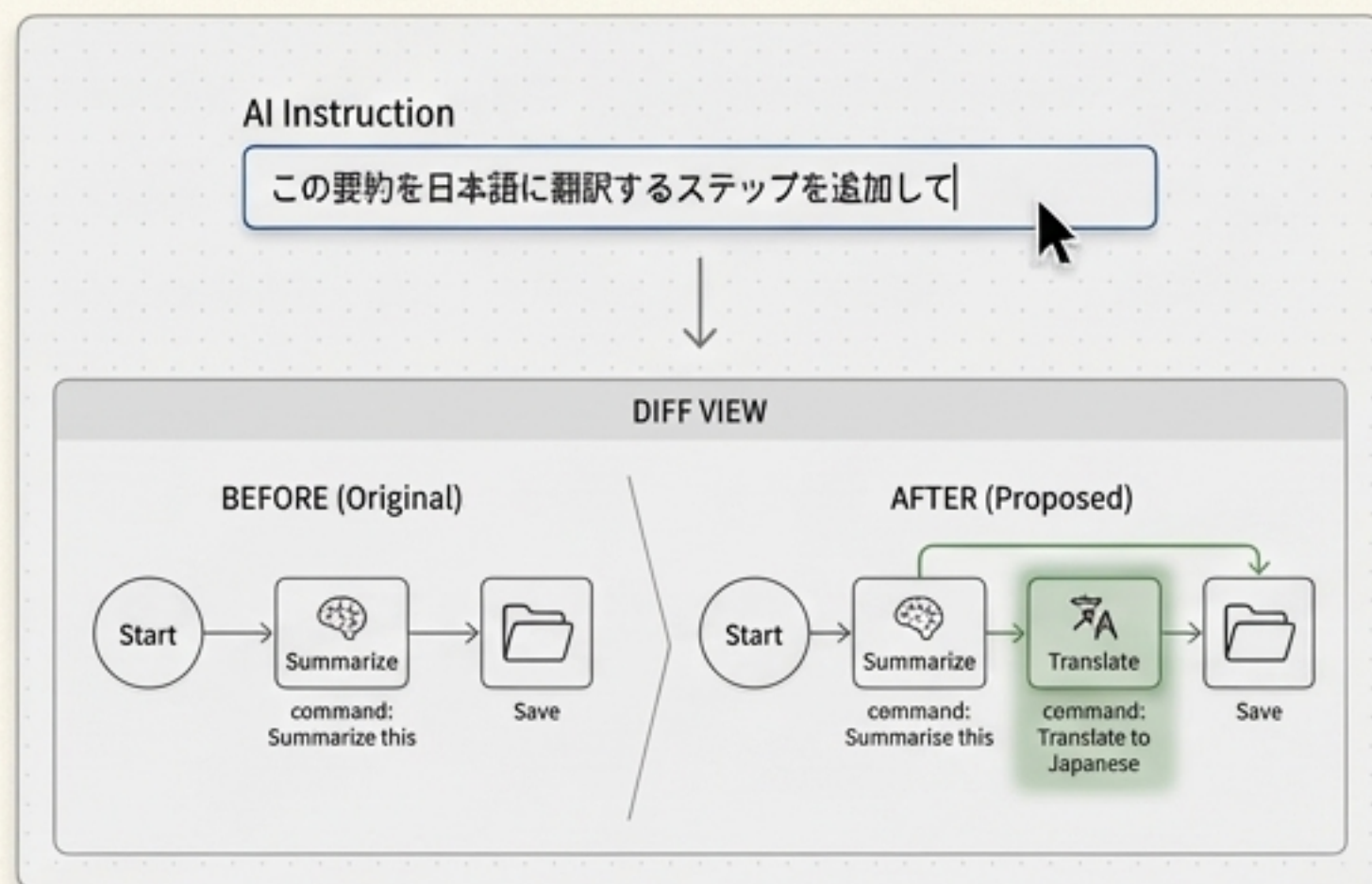


**プログラミング知識は一切不要。
あなたのアイデアが、そのままワークフローになります。**

ワークフローの作成と編集：AIに任せる、または自分で組み立てる

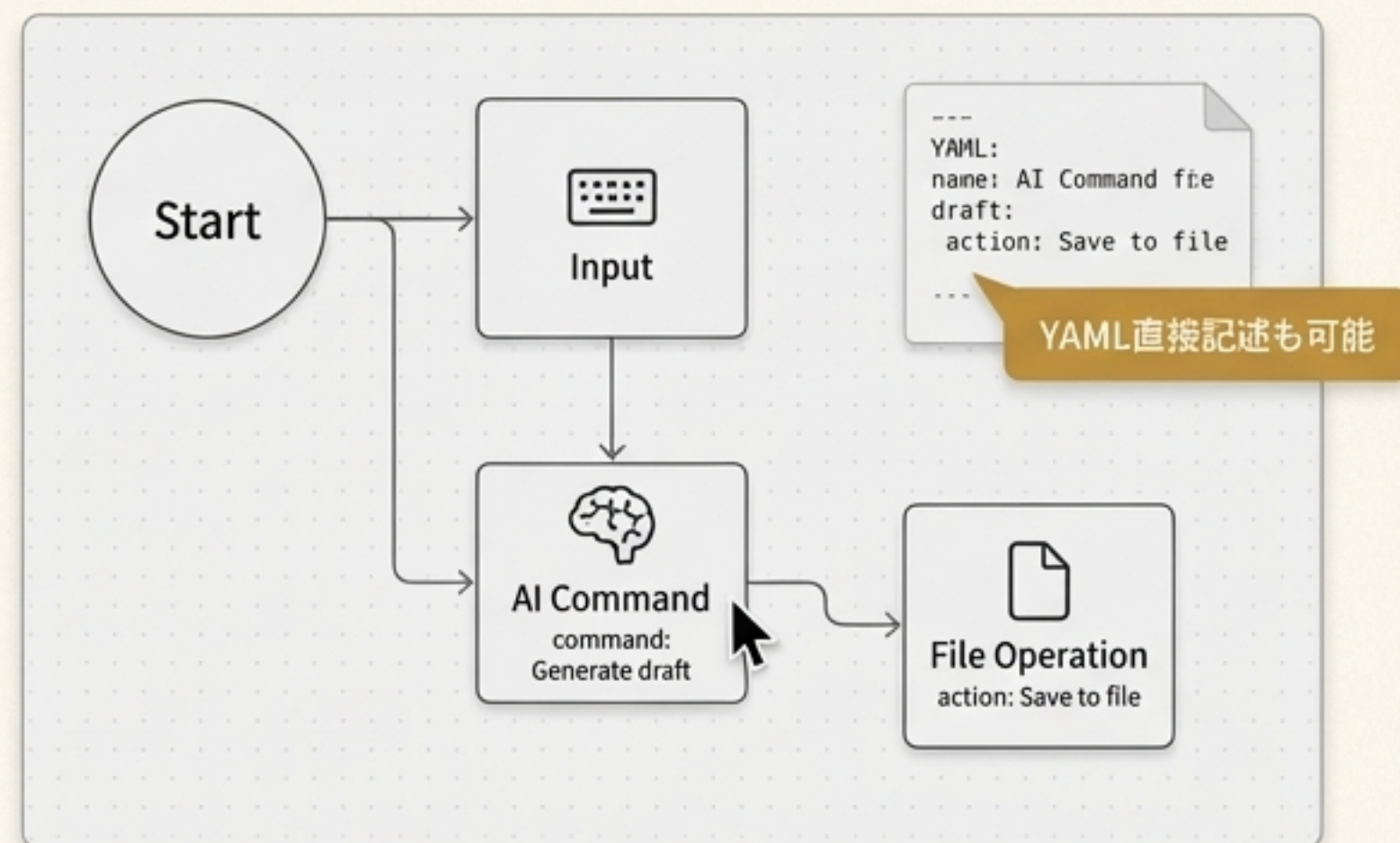
AI Modify

既存のワークフローを読み込み、「この要約を日本語に翻訳するステップを追加して」のように指示するだけで、AIが差分を提案します。



Visual Editor & Manual Mode

ドラッグ&ドロップ対応のビジュアルエディタで直感的にノードを接続。MarkdownファイルにYAMLで直接記述することも可能です。



自動化のビルディングブロック：18種類の豊富なノード

変数 (Variables)

variable

set

データ (Data)

http

json

構成 (Composition)

workflow

制御 (Control)

if

while

ノート操作 (Notes)

note

note-read

note-search

RAG

rag-sync

LLM

command

プロンプト (Prompts)

dialog

prompt-selection

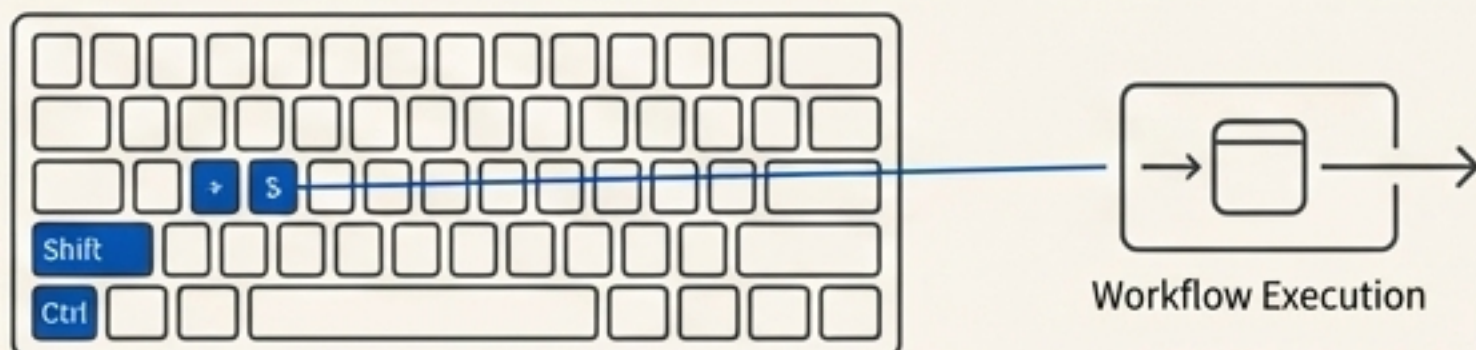
各ノードの詳細は `WORKFLOW\_NODES.md` で確認できます。

作成したワークフローを、好きなタイミングで実行する



ホットキーモード (Hotkey Mode)

ワークフローにキーボードショートカットを割り当て、いつでも瞬時に実行。`prompt-selection` は現在の選択範囲を自動で使します。



イベントトリガー (Event Triggers)

特定のイベント発生時にワークフローを自動実行。

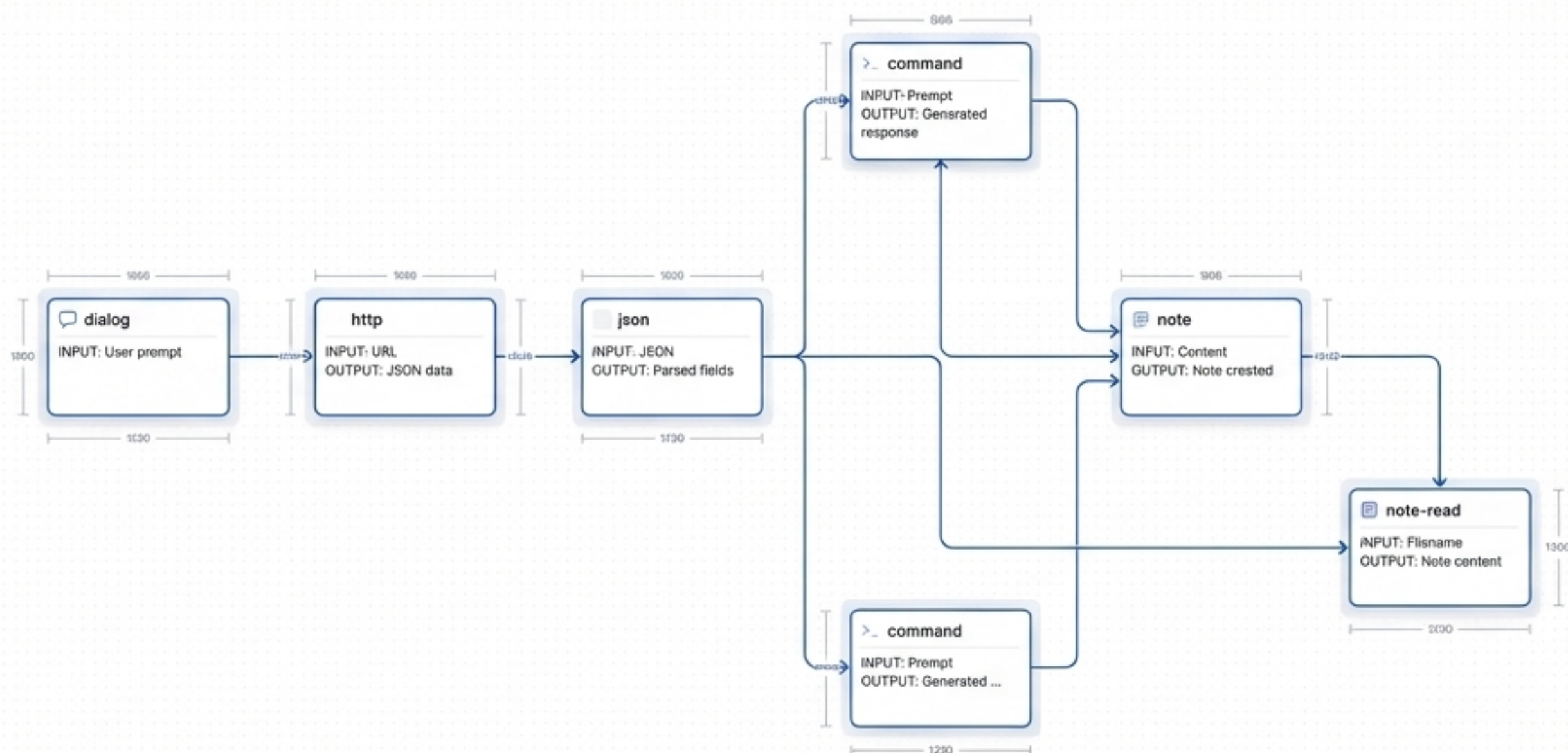
トリガー例:

- ファイル作成時
- ファイル修正時
- ファイルを開いた時...

The screenshot shows a configuration window for an event trigger. It has two main sections: 'Trigger Event' and 'File pattern filter'. The 'Trigger Event' section has a dropdown menu with 'File Modified' selected. The 'File pattern filter' section has a text input field containing 'journal/*.md'.

実行履歴をObsidian Canvasで可視化し、分析する

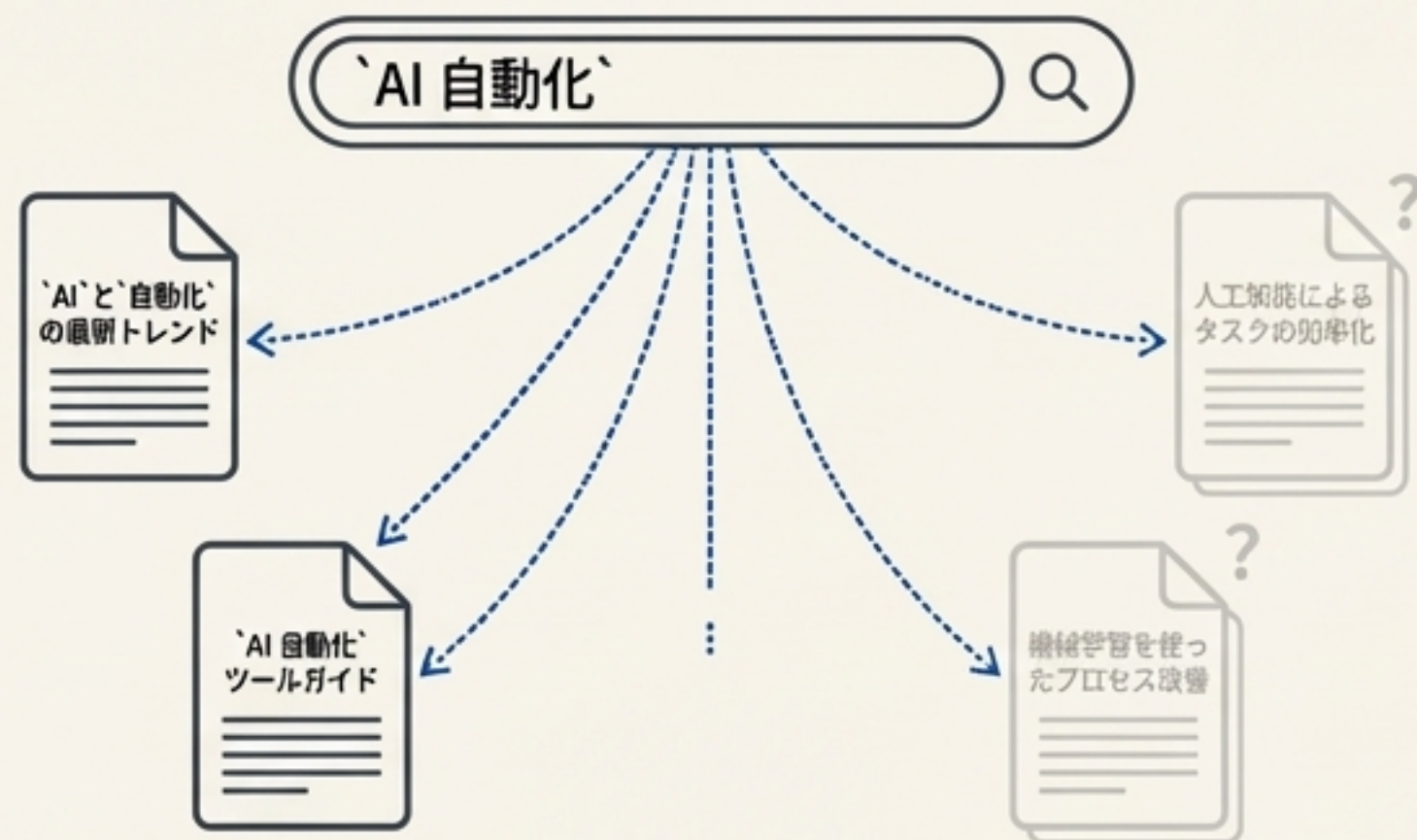
ワークフローの実行ステップ、各ノードの入出力をグラフィカルに確認。複雑なプロセスのデバッグや共有が容易になります。



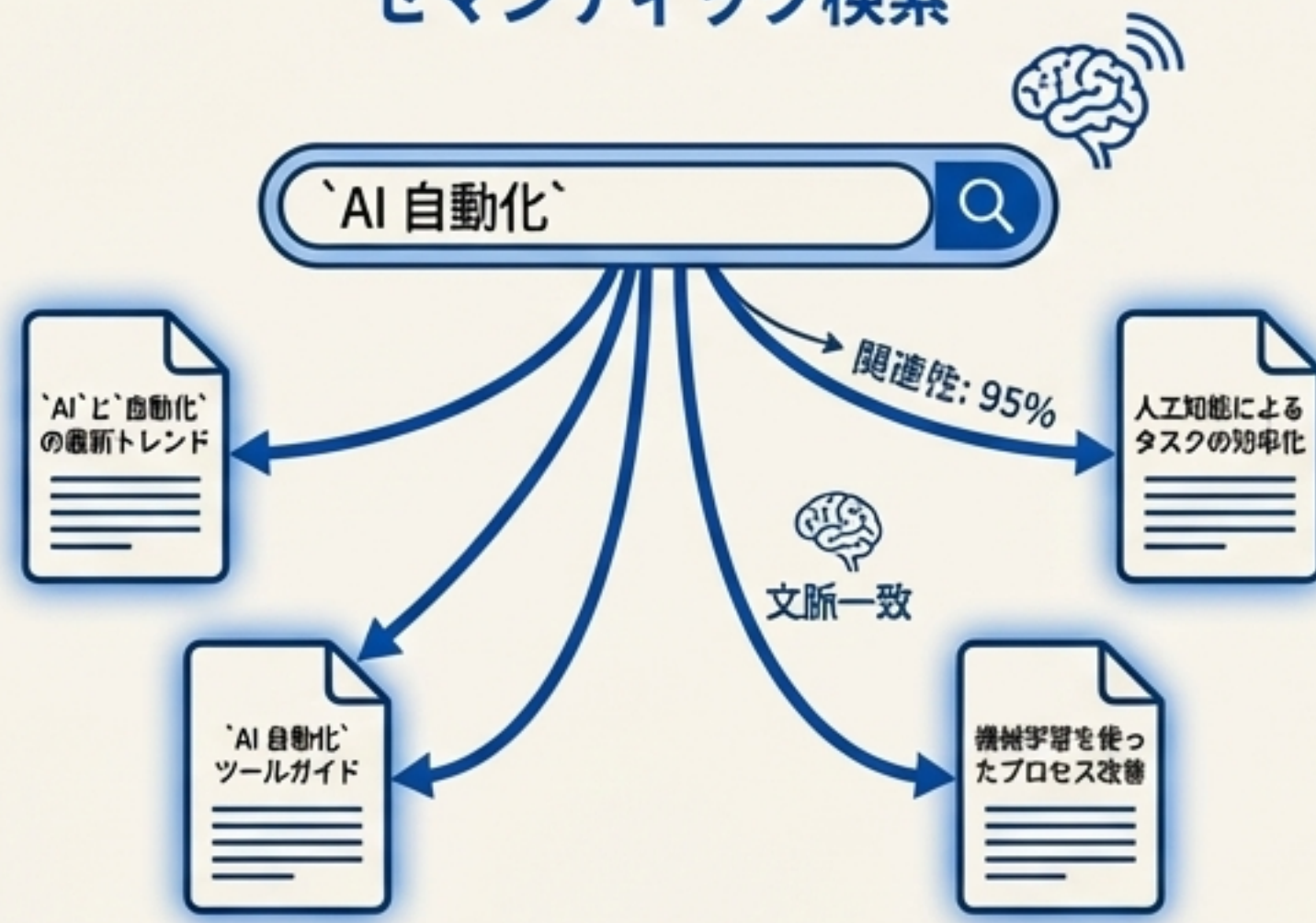
ツール3：文脈を理解する知識ナビゲーター（Semantic Search）

RAG（Retrieval-Augmented Generation）技術により、あなたの保管庫が本当の意味で「第二の脳」になります。

キーワード検索



セマンティック検索



主な機能

- 保管庫のファイルをGoogle File Searchに同期
- 差分同期で効率的に更新
- 同期対象フォルダや除外パターンを指定可能

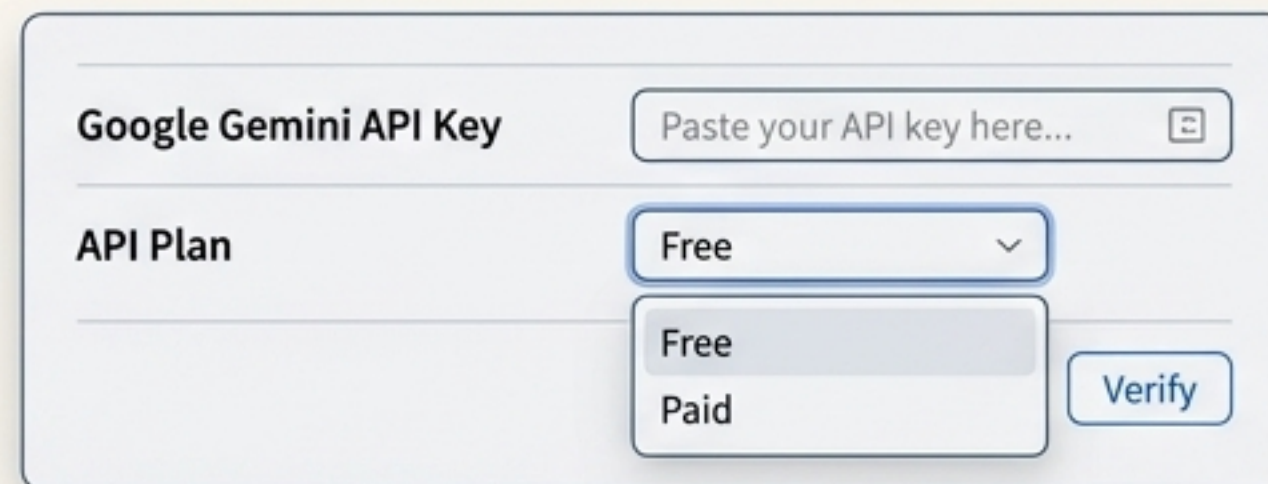
インストールと設定

インストール（BRAT経由を推奨）

1. コミュニティプラグイン`BRAT`をインストール。
2. BRATの設定で "Add Beta plugin" を選択。
3. リポジトリURLを入力:
`https://github.com/takeshy/obsidian-gemini-helper`
4. コミュニティプラグイン設定で`Gemini Helper`を有効化。

初期設定

1. `ai.google.dev`でGoogle Gemini APIキーを取得。
2. プラグイン設定画面でAPIキーを入力し、プラン（Free/Paid）を選択。
3. (CLI利用の場合)`Gemini CLI`等をインストール・認証後、設定画面で "Verify" をクリック。



The screenshot shows a configuration window with the following elements:

- Google Gemini API Key:** A text input field with the placeholder text "Paste your API key here..." and a small icon on the right.
- API Plan:** A dropdown menu currently showing "Free". Below it, a list of options is visible: "Free" and "Paid".
- Verify:** A blue button located to the right of the API Plan dropdown.

プライバシーとセキュリティについて

あなたのデータがどのように扱われるかを明確にします。

ローカルに保存されるデータ



- APIキー（Obsidian設定内）
- チャット履歴（Markdownファイル）
- ワークフロー実行履歴

Google APIに送信されるデータ



- チャットのメッセージと添付ファイル
- セマンティック検索有効時のファイル内容
- ウェブ検索有効時の検索クエリ

注意事項



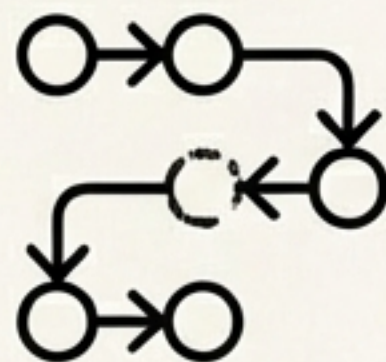
- ワークフローの`http`ノードは、指定された任意のURLにデータを送信できます。
- `slash command`の設定で`confirmEdits: false`にすると、確認ダイアログなしでファイルが編集されます。

詳細はGoogle AIの利用規約をご確認ください。

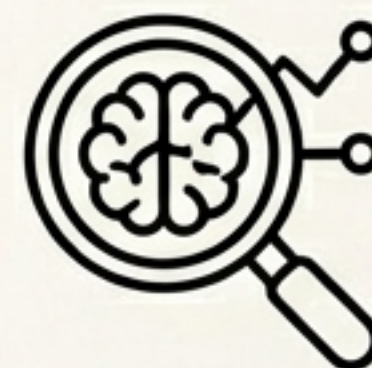
Gemini Helperで、あなたのObsidianを単なるノートアプリから、思考と創造のための統合プラットフォームへ。



知的対話アシスタント：
知識を引き出し、アイデアを
壁打ちするパートナー。



ノーコード自動化エンジン：
面倒な作業をAIに任せ、創造
的な活動に集中。



文脈を理解する知識ナビゲーター：忘れていたアイデアを
再発見し、知識を繋げる。

今すぐツールキットを手に入れ、あなたの「第二の脳」をアップグレードしよう。